

○主要業務・設立背景

- ・音響、映像、情報、通信に関する業務用システムの設計、施工、保守、リニューアル
- ・具体的には、非常放送設備やプロジェクター、監視カメラ、ナースコールなどを扱っている。
- ・機材はメーカーから仕入れ、それを施工するという形を取っている。
- ・前身は、グループ会社の通信設備株式会社の設備の保守・修理サービスを担当していた部署で、その重要性が着目され分離独立し、通信設備エンジニアリングが設立された。今年11月で20周年を迎える。

○信頼と誠実をモットーとしているのは？

大企業はネームバリューがあるので名前だけで信頼が得られるが、中小企業は自分たちの誠実な活動の積み重ねで信頼に繋げていくしかない。自分たちの色を出していくことで信頼を築き上げることができる。このようなことから、信頼と誠実を大切にしている。

○具体的な CSR 活動は？

- ・地域清掃や緑のカーテン、植栽などの環境にやさしい活動に加え、よこはま月例マラソンスポーツボランティアへの参加や、地域感謝祭の開催、障がい福祉施設のパン販売など、地域に根差した活動を行っている。これらは CSR 基金に基づいて行われている。
- ・本業を通じた CSR 活動を目指しており、単発的なものだと続かないので、利益を通して CSR 活動も継続させ、質も向上させていきたい。

【地域感謝祭】

NPO と協働し、ポニーを呼び交流できるようなイベントを開催したことをきっかけに、毎年開催されるようになった。近所に住む方々への貢献や本業に繋げるための広告活動を行っている。

○CSR を始めてみて

- ・社長が横浜型地域貢献企業認定制度を作るのに携わったということもあり、自分の会社でもやってみようという挑戦の気持ちから始まった。
- ・社員たちにはすぐ理解してもらえたが、会社内での CSR の認知という部分では時間がかかった。
- ・最初は社員にとって分かりやすいもの、ということで地域清掃から始めた。(社内に CSR を活性化できるツールとして。)

・以前から若くても発言できる場を作ってきたが、CSR を続けていく上でボトムアップの部分がより強くなった。

○社員・社長それぞれの思いは？

・社員：地域の人にどんな仕事をしているかを、CSR を通じて伝えていきたい。地域に根差した活動をしていきたい。

・社長：社員の笑顔を見たい。からこそ自分たちが幸せじゃないと幸せにできない。その気持ちを持って活動に取り組んでいきたい。

○将来について

一番大切なのはお客様なので、これからもまっすぐ誠実にお客様と関わり続ける会社でありたい。また、社員が幸せでいられるように右肩上がりの成長を目指すというよりは質の向上を目指していきたい。